

平和行動 in 長崎 報告書

日時：2022年8月8日（月）～ 9日（火）

参加者：5名

初日は、連合岐阜・連合三重からの参加者が中部国際空港に集合しました。事務局から行程・諸注意の説明後、結団式として連合三重団長の挨拶を頂き長崎に向け出発しました。

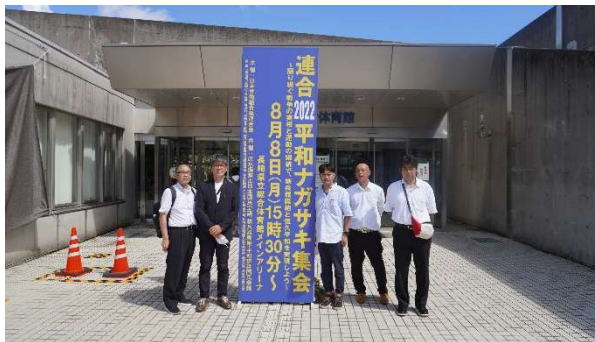
1. 被爆77年 連合2022平和ナガサキ集会への参加

長崎県立総合体育館 メインアリーナにおいて開催された、連合主催の「連合2022平和ナガサキ集会」へ参加しました。

参加者全員で黙とうをしたのち、連合長崎高藤会長の開会挨拶、連合清水事務局長の挨拶、田上長崎市長挨拶、来賓紹介に加え、国際労働組合総連合（ITUC）のシャロン・バウロ書記長のビデオメッセージを視聴しました。

集会の中で（公財）長崎平和推進協会 継承部会 三瀬清一郎氏から被爆体験談や、長崎大学核兵器廃絶研究センター長 吉田文彦氏から「ウクライナ危機」後の核軍縮をテーマにした講演を拝聴しました。また、若者からのメッセージでは、ユース代表団、高校生平和大使の活動報告や今後の抱負などを受け、平和アピールを採択しました。

最後に、連合長崎から連合北海道へピースフラッグが手渡され集会は終了しました。



2 日目も、連合岐阜・連合三重合同で各種行事に参加しました。

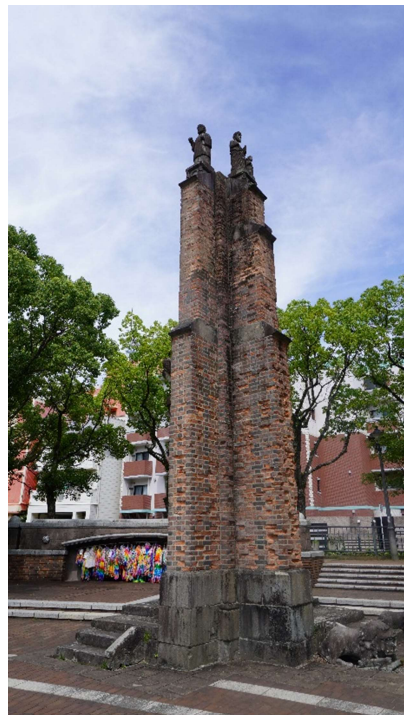
2. 連合・原爆死没者慰霊式

原爆公園の慰霊碑の前で、原爆の被害で亡くなられた方々を偲び、慰霊を慰めるため献水を行いました。



3. 原爆公園（慰霊碑ピースウォーク）

原爆公園に集合して、地方連合・産別から集合した仲間が原爆公園内にある戦争遺構や慰霊碑・追悼碑などを見学しました。連合長崎の青年委員・女性委員の方がそれぞれの場所で説明をされました。戦争遺構や碑を見ると「戦争は絶対にしてはならない」と改めて思いました。



4. 平和公園（慰霊碑ピースウォーク）

原爆公園の次に平和公園に移動し、引続きピースウォークを実施しました。午前中に、開催されました「被爆77周年長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典」の会場にもなっており、多くの方々がみえて祈りを捧げていました。



【事務局の感想】

広島・長崎に原子爆弾が投下され77年経過しました。現在でも多くの方々が後遺症で苦しい生活を送っています。戦争を経験された方が、ご高齢となり直接お話しを伺う機会がどんどん減少しています。語り部の方のお話を聴き、戦争の悲惨さを全国に、世界に伝えていくことが私達の使命だと思います。話の中で、核兵器の使用は「最初の広島・最後の長崎になるように・・・」との言葉が印象的でした。

原爆公園・平和公園のピースウォークでは、実際の戦争遺構や慰霊碑・追悼碑を見学して改めて原爆の被害・悲惨さを伺うことが出来ました。

ロシアのウクライナ侵攻以降、ロシアが核兵器の使用を示唆する発言や、核兵器非保有国では、保有論が高まったりしていることは看過できません。被爆国だからこそ出来る事、伝える事があると思います。皆さんも、今一度広島や長崎を訪れて平和について考えてみては如何でしょうか。今回参加された方には、自分の言葉で原爆や戦争について語り継ぎ平和に対する活動に取り組んで頂きたいです。また、今後の平和行動にも組合員皆さんの積極的な参加をお待ちしております。